

## スイカの生産拡大へ！省力栽培に向けて現地検討会

～天候が悪いなか八街に生産者ら27人が集う～

印旛農業事務所改良普及課 令和3年7月19日発

印旛農業事務所および山武農業事務所は、スイカ栽培の軽労化による生産の振興を図るため、7月5日に八街市内で省力整枝栽培現地検討会を開催しました。当日は時折小雨が降る中にもかかわらず、各スイカ産地から生産者など27人が集まり、スイカの省力整枝栽培ほ場の見学や、各地での取り組みについての情報交換をしました。

スイカ栽培において作業時間の多くを占める、「つる」の整枝作業は、労力がかかることから、経営規模や生産量拡大の足かせとなっています。省力整枝栽培では整枝作業時間を4～5割削減でき、大幅な省力化を図ることができます。別の試験区で糖度や等級においても通常の栽培方法と遜色がなかったことを伝えると、参加した生産者からは、「作業時間の短縮や軽労化につながる」など期待を寄せる感想が寄せられました。農業事務所では今後も省力整枝技術の確立に向け支援していきます。



小雨の降るなか多くの生産者が集まりました



省力整枝栽培されたスイカを見る生産者